

小2～小4 夏期講習生のみなさんへ

1 授業のための準備物

持ち物

①筆箱

- ・えんぴつ4～5本（シャープペンシルでもかまいません）
 - ・消しゴム（予備もあるとよいでしょう）
 - ・赤ペン（赤えんぴつ）
 - ・マーカーペン（蛍光ペン）はがあると便利です。
- なお、高級な文具の持参はご遠慮ください。

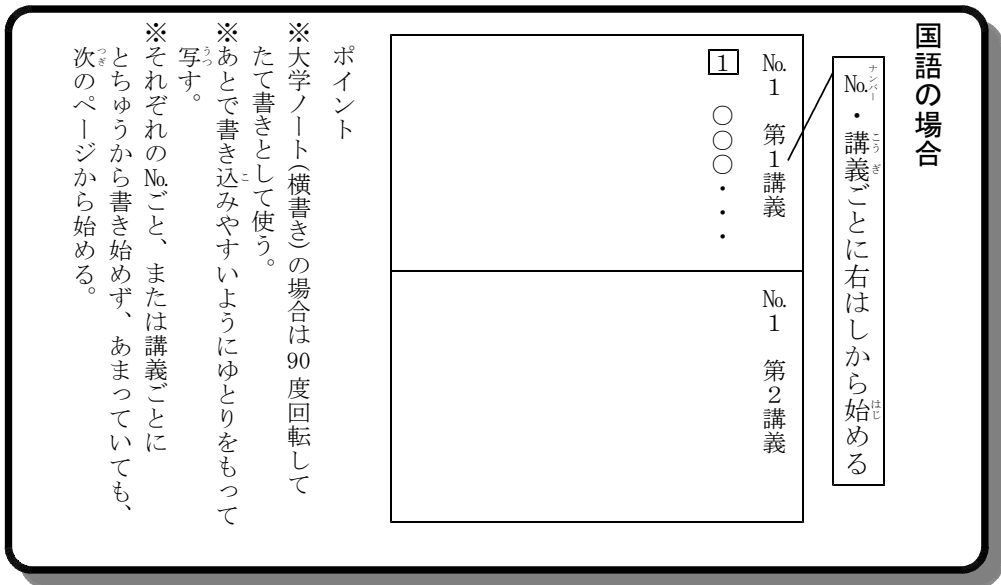
②ノート

ノートを必ず持ってきてきましょう。ノートのサイズはB5サイズのものが使いやすいでしょう。

国語……字を小さく書く人は大学ノートの横書きを、90度回転してたて書きとして使います。

字を大きく書く人はたて書きのノート全面を使うとよいでしょう。

算数・理科……特に指定はありませんが、行数が多く、一行の幅がせまいものはあまりおすすめしません。



希学園では希学園算数科が工夫をこらした「希学園オリジナルノート」〔表紙：青・オレンジ・緑・グレー、有料〕を販売しております。どの教科にもご使用いただけますが、特に算数の授業に最適な形態となっています。

ぜひご購入いただき、授業にご活用ください。

2 希学園についたら

①トイレに行っておきましょう。

②持ち物の確認をし、えんぴつをけずるなどして準備をしましょう。

③忘れ物をしたときは、事務所で事務所に人に何を忘れたのかははっきり言い、事務所でかりましょう。友だちにかりてはいけません

3 授業中は

①先生の方を見て話をよく聞きましょう。

②手を挙げるときはだまってまっすぐ挙げましょう。

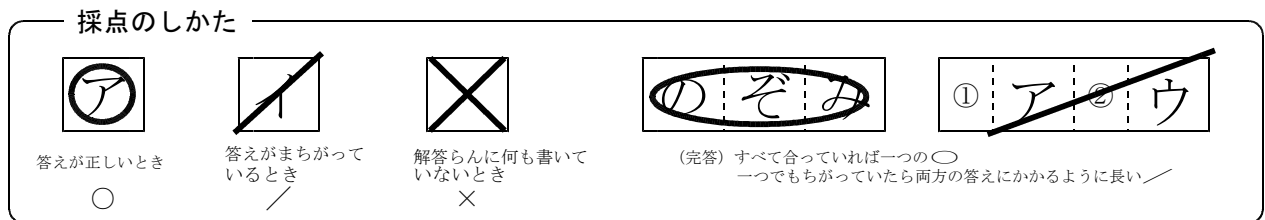
③先生が黒板に字を書き始めたら、自分もノートにすぐに写し始めましょう。

④気分がわるくなったり、どうしてもトイレに行きたくなったりしたら、手を挙げましょう。

（両面をご覧ください）

4 テスト中は

- ①テスト用紙が配られたら、自分の分をとって、のこりを後ろの人に渡しましょう。
- ②名前を必ず漢字でていねいに書きましょう。
- ③先生に「始め」と言われるまでテスト用紙は裏を向けたままにしましょう。
- ④テストが始まったら、できる問題から解きましょう。もし、わからない問題があれば、とばして後で解くようにすると時間をうまく使えます。
- ⑤答えはすべて解答らんに書きましょう。
- ⑥先生に「終わり」と言われるまで、よく見直しをしておきましょう。
- ⑦質問があれば、静かに手を挙げましょう。
- ⑧先生に「終わり」と言われたら、すぐに消しゴムやえんぴつを筆箱にしまい、赤ペン（赤えんぴつ）だけ出して待ちます。筆箱はかばんの中にしまいます。
- ⑨採点をするときは赤ペン（赤えんぴつ）でていねいに、正しい答えには○、まちがった答えには／、解答らんにも何も書いていないときには×をつけましょう。赤ペン以外のものは使ってはいけません。



〔小2・小3のみなさんへ〕 確認テストを自分で採点します。

〔小4のみなさんへ〕 復習テストを相互採点します。下記の注意点に気をつけましょう。

- ①先生の指示にしたがって、解答用紙だけを残して、問題用紙はすべて机の中に入れましょう。
- ②解答用紙を左右で交換します。
- ③他の人の解答用紙を採点するので、ていねいにあつかってください。
- ④採点者の氏名を書くところに名前を書きましょう。
- ⑤何も書かれていない解答らんに、「×」をつけましょう。
- ⑥模範解答が配られたら、採点を始めてください。「○」、「／」、「×」以外のことを書いてはいけません。
また、赤ペン（赤えんぴつ）以外のものを使用しないでください。
- ⑦採点でわからないことがあれば手を挙げて質問します。
- ⑧採点が終わったら、点数を計算して、得点を記入します。
- ⑨得点を記入したら、模範解答を机の中にしまいます。
- ⑩先生の指示にしたがって、後ろから前に解答用紙だけをおくります。名前のある面を上にして前の人に渡しましょう。

5 帰るときは

- ①駅やバス停まで先生の引率で友だちと帰ります。きちんとならんで先生の指示にしたがいましょう。
おうちの人が希学園までおむかえに来られる場合は、待ちあわせ場所をしっかりと約束しておきましょう。
- ②忘れ物をしないようにしましょう。帰るときにはもう一度机の中を忘れ物がないか確認しましょう。雨の日はかさなども忘れずに気をつけましょう。
- ③駅のホームやバス停で走り回ったり、大きな声でしゃべったりしてはいけません。

6 家に帰ったら

- ①テキスト・ノートを見て、その日に習ったことをよく思い出してみましょう。
- ②宿題を早めに始めましょう。すべてできなくてもよいですが、授業で習ったところはできるようにしておきましょう。
- ③わからないものはずっと考えず、×にして、答えや解説をよく読んでやり直しをしっかりとしましょう。
- ④国語の文章は、問題を解いてからも、別の日にくり返し読んでみましょう。

※そのほか、わからないことがあれば、先生や事務所の人に何でもたずねてください。

以上

（両面をご覧ください）